

3・11 を忘れない

まず自分の命を守り、
次に身近な人を助け、
さらに地域に
貢献できる人になるために

あの日・・・

被災地から、東京都の小学生にメッセージをいただきました。

家に帰って弟に本を読んでもあげていると急に「津波だああ」という大声がして「ドドドド」というせせこましい大きな音がしました。「もうためにあに階に上がれえ」という祖父の声かして、私は弟の手だけをしっかりとらえて、今まで出したことのない速さで二階に駆け上がりました。津波で家がとんとん流されていく様子がまじから見えるので家族で必死に「止まれえっ、止まれえっ」と祈っていました。すると奇跡的に家の目の前で止まり水も二階まで上がらずにギリギリで止まってくれました。がれきや木村と一緒に車も流されてきて、その車の上に人がいました。そのうちに祖父が「ここからロープを出してきてロープを使ってその人を救出しました。その人に服をわたすと「ありがとうございます。ありがとうございます。」と何度も言っていました。私は「助けて良かった。協力するよって大それたな」と思いました。その後、私は両親とはなれて、仙台の親せきの家にひなんしていました。

学校が始まってからは、水道の水が飲めないことが不便では水道タンクが津波もがらついていたからです。通学路もがれきや震災ごみなどでせまかつし、工事などがあちこちでやっていた、あぶなかつたです。それに校庭と体育館が使えなかつたので、思いっぴり遊べなかつた、つまらなかつたです。給食の面でも、毎日パンと牛乳とカップのデザートだけで、温かいごはんとおかずが食べられませんでした。

その様な不便な学校生活の中、私は全国から支援をいただいたことにも感謝しています。東京の枝川小からは、運動会用品をたくさんいただき、今振り返ってみると「あの支援のおかげで運動会は成り立ったなあ」と思い、とてもありがたくなっています。外国からもはげましの手紙などをいただき、本当に支援をくださった方々は、思いやりのある優しい人達だなと思います。そして私は支援をもらう度に「絶対いつかこの恩返しをしたいな」と思っています。

最後に、私はこの大きな災害を必ず「地震津波地震」があつたらしく「海から逃げる」ことを伝えていきたいです。多くの犠牲者や悲しむ人を出したくないからです。そして、自分でもこの大震災を思い出したくないけど、時々思い出して、絶対必ずこの出来事を忘れないでほしいです。そして、支援をしてくださった方々に恩返しをしたいと思います。どこかで「災害があつたら私の出来る事をすぐに支援します。

宮城県 東松島市女 大曲小学校 4年 杉浦 遥

お手紙をいただいた杉浦 遥さんの通う東松島市立大曲小学校は、東北地方太平洋沖地震に伴う津波で、大きな被害を受けました。

5月に開かれるはずだった運動会は延期となりました。運動会用品がほとんどなくなってしまったことを知った江東区立枝川小学校は、代表委員会による励ましのおたよりと一緒に、綱引きの綱や大玉、万国旗などを贈りました。

平成23年10月8日、大曲小学校は、5か月遅れの運動会を行いました。このとき、大曲小学校の屋上には、枝川小学校から届いた横断幕が、両校をつなぐかけ橋として掲げられていました。

みなさんも、さまざまな形で、被災地の仲間にも多くの応援を送ってきたと思います。これからも、私たちができることを考えていきましょう。



枝川小学校から届いた綱や大玉を使って運動会が行われました。



枝川小学校から大曲小学校に贈られた横断幕

3月11日の大地震で、私の家まで津波がきて、床下しん水になってしまいました。この震災で、多くの方々が亡くなり、原発事故や水不足など今までに経験のないことが起きました。

私は、学校から帰ると中だったので、あわてて学校にもどり助かりました。3月11日のあと、私たちを笑顔にするために、たくさんの方が来てくれました。自衛隊の人たちが、おにぎりや豚汁を作ってくれました。自衛隊のみなさんが一生けん命に作ってくれたのがうれしかったです。自衛隊のみなさんや世界の人たちに「ありがとう」と言いたいです。



自衛隊の炊きだしの様子

福島県いわき市立高久小学校 5年 阿部 千桐

つなみ 津波

防潮堤を乗り越えていく巨大な津波(岩手県野田村)
[平成23年(2011)3月11日]



平地部で激しく渦を巻く津波(岩手県陸前高田市)
[平成23年(2011)3月11日]



津波で孤立した幼稚園の園児を
救助する海上保安庁の潜水士
(宮城県石巻市)
[平成23年(2011)3月11日]



マグニチュード
9.0

だいしんさい 東日本大震災

平成23年3月11日午後2時46分



震災の次の日も燃え続ける建物
(岩手県釜石市)

火災

津波により、押し流され、がれきの上にとり残された大型船(宮城県気仙沼市)

とうかい 倒壊

警視庁警備犬による搜索活動





江東区青海では地震による火災が発生しました。
[平成 23 年 (2011) 3 月 11 日]



東日本大震災が発生すると
東京消防庁では各隊が被災
地に向かいました。

東京



鉄道をはじめあらゆる交通機関が止まり、都内では
大渋滞が発生しました。(皇居周辺)

地震、津波・・・そして、復興に向けて



避難所で開かれた警視庁音楽隊のコンサートには、
ピーボくんも飛び入り参加しました。



岩手県宮古市庁舎に掲げられた応援メッセージ



東京都からは、東京消防庁、警視庁がいち
早く駆けつけ、救助、救援活動を行いました。
被災地では、各自治体、自衛隊、消防、警
察などによる懸命な救援活動が続き、復興
に向けた取り組みが行われました。

ふっきゅう 復旧へ

平成23年3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖で、日本の観測史上最大の巨大地震が発生しました。この大地震は、大きな津波をもたらし、多くの尊い命が奪われました。

被災地では、大切な家族や友達を失った方々、思い出のいっばいつまった家や学校をなくしたり、仕事をなくされたりした方々がたくさんいます。

「3.11 を忘れない」

この言葉は、被災された地域だけに当てはまるものではありません。

私たちの住む東京都でも、近い将来、首都直下地震が発生すると言われています。

その時に備え、小学生の私たちには、今、何ができるでしょうか。

まず、みなさんの学校で、毎月の避難訓練を真剣に行うことや、地域の防災訓練などにも積極的に参加することが大切です。

次に、普段の生活において、小学生としてやるべきことをきちんと行うことが重要です。学級の係や当番、毎日の掃除や身の回りの整理整頓などをきちんとするなど、日常の基本をしっかりと身に付けておくことが大切です。

また、委員会活動やクラブ活動などで友達と協力し助け合って取り組むこと、それが、いざ災害が発生したときに、必ず役に立つ力となります。

そして、この「3.11 を忘れない」をもとに、地震などの災害から自分の身を守るための知識や安全な行動について学びましょう。

この本の中には、被災された地域の小学生の手紙や作文ものっています。

東京都で学ぶ小学生の私たちも東日本大震災の記憶を忘れず、地震などの災害が発生したときに備え、学習を深めていきましょう。

もくじ

あの日…	表紙裏	1
カラーグラビア 東日本大震災		2・3
はじめに		4

知って

年表で見る主な自然災害	6・7
地震による災害	8・9
火山の噴火による災害	10・11
台風などによる風水害	12・13
関東大震災〈関東地震〉	14・15
困難を乗り越え、東京は復興へ	16・17
阪神・淡路大震災〈兵庫県南部地震〉	18・19
東日本大震災〈東北地方太平洋沖地震〉	20・21
先人が教える地震、伝える地震	22・23
先人が伝える防災の教え	24・25

もし、東京で大地震が発生したら	26・27
学校での備え、家庭での備え(1)	28・29
学校での備え、家庭での備え(2)	30・31
地域防災マップを作ってみよう	32・33
地震が発生したら、正しい情報を集めよう	34・35
その時、東日本大震災はどう伝えられたのか～情報について考えよう～	36・37

備えて

守って

「お母さんをかならず見つけます」	38・39
大地震が発生したときは	40・41
けがややけどをしたときは	42・43
一時集合場所・避難場所・避難所	44・45

地域の防災訓練に積極的に参加しよう	46・47
心肺蘇生とAED	48・49
大災害とたたかう 負けない 助け合う(1)	50・51
大災害とたたかう 負けない 助け合う(2)	52・53
防災を調べよう 学ぼう 感じよう	54・55
自分のまちの防災対策を調べてみよう	56

明日へ

復興に向けて…	58・59
---------	-------

教科等との関連



国語



社会



理科



家庭



体育



道徳



総合的な
学習の時間



特別活動



読み物